

2027 年度 信州大学 SPRING 支援申請書（2028 予約採用）

JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)
 信州大学大学院総合医理工学研究科
 博士育成強化プロジェクト－自立成長型博士課程（6S モデル）－

【予告版】SPRING 事業については現在、事業の継続に向けた審査を受けているところであり、以下の募集内容は現時点の予定となります。審査結果が確定した後、正式な募集を行います。

※正式募集時には Word ファイルを公開します。

【1】申請者情報

支援区分 …いずれかに○。区分1の場合 は民間等の給付奨学金の 有無も記載	☐ 区分1 主として日本人学生対象 ー民間等の給付型奨学金による年間 240 万円以上の生活費支援 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 区分2 主として留学生対象 ☐ 区分3 主として社会人学生対象
採用の種類(支援開始 時期) …いずれかに○。	☐ 通常採用 (2027 年 4 月。区分 1, 2, 3 で募集。) ー2026 年度中の支援希望 (2026 年度中に本研究科に在学する者のみ回答) ☐ 希望する ☐ 希望しない ☐ 予約採用 (2028 年 4 月。区分 1 のみ募集。信州大学修士課程 1 年生対象)
希望審査グループ …いずれかに○	☐ 審査グループ① (医学・理学・農学 審査グループ) ☐ 審査グループ② (工学・繊維学 審査グループ)
フリガナ 氏 名	
学籍番号 (他大学の場合 は出身大学の番号)	
連絡先	e-mail : TEL :
学歴 (学部卒業以降)	1. 年 月 大学 学部 学科卒 2. 年 月 大学大学院 研究科 専攻修了/ 修了予定
博士の状況	年 月 信州大学大学院総合医理工学研究科 専攻入学/ 入学予定 【入学予定者の現在の状況】 年 月 合格/受験済 (合否未定) /受験予定
研究・職歴等	1. 年 月 ~ 年 月 ○○○○にて○○○を実施 2. 年 月 ~ 年 月 ○○○○にて○○○を実施
現在の 研究指導者	所属機関・部局・職名 : 氏名
採用後の 受入研究者	所属機関・部局・職名 : 氏名

予告・未確定版

【2】研究計画 適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。様式の変更・追加は不可です。

(1) 現在の研究内容と修士課程修了までの見通し 本項目と(2) SPRING 学生として取り組む研究目的・内容をあわせて3頁に収めてください。

・現在、修士課程で取り組む研究について、まず、研究課題名及び研究の概要を全角500字（半角1,000字）程度で記入し、続けて、以下を記載してください。

- ①研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。
- ②どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、年次計画を示し、具体的に記入してください。研究計画が想定通り進まなかった場合の対応方法があれば、あわせて記入してください。
- ③研究の特色・独創的な点にも触れて記入してください。（研究の特色・独創的な点の例：先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、総合知への貢献、将来の見通し）
- ④研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。
- ⑤研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

(2) SPRING 学生として取り組む研究目的・内容 本項目と(1)現在の研究内容と修士課程修了までの見通しをあわせて3頁に収めてください。

・SPRING 支援学生として博士課程において取り組む研究について、まず、研究課題名及び研究の概要を全角500字（半角1,000字）程度で記入し、続けて、以下を記載してください。

①研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

②どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、年次計画を示し、記入してください。研究計画が想定通り進まなかった場合の対応方法があれば、あわせて記入してください。

③研究の特色・独創的な点にも触れて記入してください。（研究の特色・独創的な点の例：先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、総合知への貢献、将来の見通し）

④研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

⑤研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、記入してください。

研究課題名：●●●●●

【3】研究遂行力の自己分析

本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可です。

- ・SPRING 制度は、我が国の科学技術・イノベーション」に貢献する人材を育成することを目的としています。この目的に鑑み、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、研究遂行力について分析してください。

(注) 本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。

- ・根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）がある場合には、まず成果物の一覧を掲載し、見出し番号を付してください。続く文章では、適宜成果物に言及しながら（言及の際には見出し番号で示すこと）記入してください。
- ・成果物（論文等）は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。
- ・学術論文の場合：著者、題名、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載し、査読の有無を明らかにしてください。投稿中で採録が決定していない場合は、「投稿中」と記載してください。
- ・研究発表の場合：著者、題名、発表した学会名、場所、年・月を記載し、口頭・ポスターの別を明らかにしてください。

【成果物一覧の例】

1. 論文
2. 論文
3. 研究発表（口頭）
4. 受賞

- ・記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。
- ・今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素や意欲的に取り組みたいと考えている事項についても記入してください。

【4】博士課程進学の原因、博士課程修了後の進路構想 本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可です。

- ・博士課程進学の原因、博士課程修了後の進路構想等について記載してください。
- ・区分②に応募する場合は、博士課程修了後の進路構想等の中で、どのように日本の科学技術・イノベーションに貢献するかについても説明してください。
- ・区分③に応募する場合は、博士課程進学の原因の中で、実務経験と研究テーマとの関連性についても説明してください。また、博士課程修了後の進路構想等については、現在の所属組織または新たに所属する予定の組織において、博士課程で得られた研究成果をどのように生かすかについて説明してください。